

畜だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

2023. 4. 1



目 次

新入生諸君へ

課程・別科紹介

在来生所感

入試課・教務課から 学生支援課から

学 長	長 澤 秀 行	1
共同獣医学課程	教授 佐々木 基 樹	2
畜産科学課程	教授 木 下 幹 朗	3
別 科	教授 西 田 武 弘	4
共同獣医学課程	2年 加 藤 文 音	5
畜産科学課程	3年 金 曽 桃 香	5
畜産科学課程	2年 伊 藤 韶 希	6
別 科	2年 加 藤 武 志	6
学位記並びに修了証書授与式が行われる		7
飲酒について		8
S N S 利用にあたって		8
悪徳商法にご注意！		8
交通事故防止		9



「入学おめでとう」

学長
長澤秀行

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。昨年は、オープンキャンパスを対面で開催することができました。コロナ禍でオンラインの開催を強いられていた反動か、2日間にわたって開催されたオープンキャンパスには、多くの参加者がありました。実際にキャンパスを訪れ、教育研究内容を知り、施設を見学し、学生寄宿舎やアパートなどの住環境の情報を得たことが、本学への入学動機になっている割合が高いとの調査結果があります。あるいはネット検索により、皆さんの中には、本学の情報はある程度、持っていると思います。でも、これから始まる大学生活には新たな発見と、人生でかけがえのない経験が待っています。

皆さんの多くは、生まれ育った地域を離れ、今ここに、本学へ入学するという意思を同じくする仲間たちと共にいます。本学の前身である帯広高等獣医学校は、今から82年前の1941年に設立されました。第一回入学式には、全国各地や海外（台湾や満州など）から132名の新入生を迎えて挙行されました。未だ校舎はなく、帯広市の建物を借用しての実施でした。

私が入学したのは、49年前の1974年です。新入生は、大学院生が28名、学部生は、獣医学科45名、酪農学科42名、草地学科31名、農産化学科30名、農業工学科28名、畜産経営学科22名、畜産環境学科53名、別科草地畜産専修23名、農業改良普及員受託研修生5名の合計307名でした。講堂は未完成で、体育館に椅子を並べて実施されました。

その後、教育研究体制の変遷を重ね、施設の増改築による環境整備も進み、今は私の入学時とは大きく変わりました。しかし、本学の人材育成目標は、開学当初から大きく変わらず、農と食の大切さ、動

植物の命の尊さを心得た素養を基礎として、いわゆる「Farm to Table」の幅広い領域を学際的視点で捉える能力と、社会変化に適応できる知識・実践力を有するとともに、国際的視野を備えた人材を育成することです。

今日、「農と食」に関わる問題は複雑に絡み合い、さまざまな課題を抱えています。これらの産業分野や地域が直面する課題解決のためには、対応が可能な人づくりが必須です。昨年4月1日には、本学と小樽商科大学および北見工業大学の3大学が経営統合により国立大学法人北海道国立大学機構を発足させました。本機構は農学、商学、工学を担う国立大学の教育研究連携により、北海道経済・産業の発展と国際社会の繁栄並びに、SDGsに示された持続可能な社会の実現に貢献することを目標としています。

皆さんには学業の他に、クラブ活動やボランティア活動などにも積極的に参加していただきたいと思います。時間を惜しまずアクティブに活動すればするほど大学生活は豊かになります。十勝の開拓の歴史を知り、地域の企業の方々と交流し、多様な人々の考え方や文化に触れることも大切です。こうした学業以外のアクティブな時間を送ることによって、多様性を受け入れる人間性が育まれます。これらは、「ガクチカ」（学生時代に力をいたしたこと）として、就職活動に利用されるかもしれません。皆さん、それぞれの目標に向かって、志を高く持ち、悔いのない学生生活を過ごし、生命・食料・環境分野の専門知識、社会に通用する教養、社会情勢の変化や諸課題に対応可能な応用力やコミュニケーション能力を身につけ、人間的に大きく成長されることを祈念します。

課程紹介



教授
佐々木 基 樹

共同獣医学
課程

共同獣医学課程の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学の共同獣医学課程を志望した理由は様々だと思いますが、これから約6年間の獣医学教育によって、皆さんは多くの幅広い知識を習得し、これまで抱いてきた、または入学後に新たに抱いた夢の実現へと向かって進んでいくことになることでしょう。この入学を機に、皆さんは自由に「学ぶ」ことができる恵まれた環境にあることを再認識して下さい。この6年間の大学生活において、獣医学はもとより多くの分野の知識を積極的に吸収することで、豊富な知識と人格を兼ね備えた獣医師として皆さんが社会に貢献していくことを期待しています。

帯広畜産大学と北海道大学は、2012年度から共同獣医学課程（VetNorth Japan: VNJ）を開設し、今年度の入学生が12期生になります。この共同獣医学課程では、統一されたカリキュラムにおいて教育がなされ、それぞれの大学がもつ強みを生かし、弱い部分を補完し合うことで質の高い獣医学教育を可能にしています。帯広畜産大学は、広大な十勝という酪農や食肉生産といった畜産業が盛んな地域に位置していることから、産業動物臨床や食品衛生といった分野が充実しています。一方、北海道大学では、伴侶動物臨床や人獣共通感染症といった分野に強みがあり、皆さんはこれらの分野を含む多くの獣医学関連科目を両大学の教員から学ぶことになります。

また本共同獣医学課程は、2019年の12月に欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の獣医学教育の欧州基準認証を取得し、国際水準の獣医学教育を実践していることが認められております。今後、この獣医学教育の水準を維持・発展させていくことは本学の責務であり、VNJの獣医学教育改善には皆さんの協力が必要不可欠となります。教職員とともに皆で

VNJを発展させていきましょう。

共同獣医学課程では、2019年度から新カリキュラムがスタートしており、1年生の講義は教養科目を中心に行われ、専門科目としては帯広基礎獣医学演習や農畜産演習が実施されています。帯広基礎獣医学演習では、帯広で北大生と一緒に獣医学の概要に関する学び、また本演習は両大の学生が交流を深める切っ掛けにもなっています。また、農畜産演習では獣畜融合の観点から、と畜実習や搾乳実習などが行われ、「いのち」と「食」を考えるうえで貴重な体験となることでしょう。2年生からは獣医専門科目が本格的に始まり、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学の講義・実習が体系的に実施されます。4年生になると臨床獣医学に関する科目が加わり、参加型臨床実習（ポリクリ）に参加するための基礎的な知識と臨床技術の習得がなされます。5、6年生では実際に獣医療現場に参加するポリクリが実施されますが、このポリクリを受講するにあたっては4年生の終わりに実施される共用試験に合格する必要があります。また、5、6年生では課題研究が行われ、研究のノウハウを学びます。さらに研究を続けたい学生さんには、本学大学院に獣医学専攻博士課程が設置されていますので、進学も選択肢の一つになるでしょう。

これから、獣医師になるためのハードな日々がはじまりますが、本来、自身がやりたいことであればそれを楽しむこともできるでしょう。また、課外活動などにも積極的に参加してバランスのとれた健全な大学生活を送って下さい。この6年間の帯広での生活が、夢実現への第一歩になることを願っております。

課程紹介



教授
木下幹朗



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

本学の基本目標は、「日本の食料基地（十勝は食料自給率1000%越え）」として食料の生産から消費まで一貫した環境が揃う北海道十勝地域において、生命、食料、環境をテーマに「農学」「畜産科学」「獣医学」に関する教育研究を推進し、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、くらしを守る人材の育成を通じて地域及び国際社会に貢献する」ことです。

本学は畜産学部のみのいわゆる単科大学ですが、本学がカバーする学問領域は広く、畜産科学課程には生命・食料・環境の多様な分野を科学する家畜生産科学、食品科学、環境生態学、植物生産科学、農業経済学、農業環境工学の6つの専門ユニット（他大学でいう学科）があります。1年次、皆さんは各ユニットが開講する「農畜産科学概論Ⅰ～Ⅵ」と、それに連動した「全学農畜産実習」を受講し、農畜産学の概要を学びます。また、農畜産学を学問として理解する上で必須な自然科学系科目（いわゆる理科や数学）、人文社会科学系科目（語学を含む）を履修し、農畜産学の専門課程へ進む足固めを行います。

二年次からユニットに所属し、上記の基盤科目をもとに各専門性を深めていく過程に入ります。このあたりから畜産大学らしい内容の講義や実習が増えています。三年次になるとさらに専門的な展開教育が始まり、より専門性の高い講義や実習が中心となります。後期からは研究室に所属し、担当教員の指導のもとで卒業研究の準備に入り（英語論文の読み方など）4年生になると、卒業研究中心の生活となります。この卒業研究は学生自身が実験や調査に取り組み、4年生の後期には、結果を発表し、論文としてまとめます。すなわち、究極のアクティブラーニングを経験することになります。

卒業後の進路については、1年生のキャリア教育1、2年時のキャリア教育2などで、就職や大学院進学についての詳細説明や本学OBOGの講話など

を通して、皆さん自身で卒業後の進路について考えてもらいます。

本学では、ユニット横断する教育プログラムを備えており、より学びの視野を広げたい方はぜひ履修することをお勧めします。海外活動経験を積みたい学生には、国際教育プログラム、大学院で動物医学を学びたい学生は同進学プログラム、また本年度より本格的に北海道国立大学機構の3大学が連携して開講する副専攻プログラムもあり、商学や工学の要素を取り入れた広い領域を学べるプログラムとなっております。これらのこととは、ホームページやキャリア教育等で随時情報を提供いたします。専門のユニットでの学修を極めることも大事ですが、上記のプログラムに参加し、広い視野を得ることも非常に重要です。興味のある皆さんぜひ参加してください。

学業以外の重要な要素に、課外活動（いわゆるクラブ活動など）があります。4年間の有意義な学生生活を過ごすためには、積極的に課外活動に参加して、学業では得られない様々な経験を蓄積することをお勧めします。ただし、本分は学業であることを決して忘れないでください。

また、皆さんは、18歳に達した法律上の成人です、成人を機に様々な契約行為等が自身の意思と責任の下に決めることができるようになりました。反面、いわゆる親権はなくなりますので、自らが成人としての義務と責任を負わなければなりません。すなわち、自己の決定には責任が伴うことを肝に銘じて、学生生活を楽しんでいただければと思います。

厳しいことを最後に書きましたが、大学生は高校生までの生徒（学校などで教育を受ける者）から学生（学業を修める者）へと名称が変わります。すなわち自ら学ぶことが求められます。とはいえ、四六時中学業のみを続けるのは無理ですので、「よく学び（学業）よく遊ぶ（課外活動等）」を基本として、有意義でメリハリのある大学生活を送っていただきたいと思います。

別科紹介



教授
西田 武弘



別科新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。別科主任を務めます西田武弘です。よろしくお願いいたします。今、皆さんは大学での新しい勉学、活動に向けて、少しの不安を抱きながら緊張気味かもしれませんが、ぜひ、帯広畜産大学での活動に期待を抱き学生生活をスタートしてもらいたいと思います。

まず、別科の生い立ちから紹介します。昭和16年(1941)に帯広畜産大学の母体となった帯広高等獸医学校が創立され、本学別科はその19年後の昭和35年(1960年)4月1日に別科(草地畜産専修)として産声をあげました。つまり、皆さんが入学する令和5年(2023年)は創設から64年目となります。これまでの約60年間に1200人以上の皆さんの先輩が卒立っています。このように、歴史ある別科ですが、2020年度より、別科・酪農専修として生まれ変わりました。

新しい別科・酪農専修では、現在の我が国の酪農産業の多様性、つまり、高効率大規模経営化、搾乳ロボットなどの先進技術の普及、放牧酪農や有機酪農などの特色ある飼養形態、加工・販売まで手掛けける6次産業化や観光農場及び酪農教育ファームなどに対応できる人材を育成することを目的として、【酪農に関わる基本的知識と技能を備え、食と農の大切さを基礎として「農場から食卓まで」の幅広い視点で酪農に適応できる知識と実践力を有し、国際的視野で地域の酪農を担い、日本の酪農産業をリードできる人材を育成する。】を教育目標に掲げています。この目標に基づいて、本学学部教員から構成される教員スタッフが、基礎学術科目と専門教育科目を担当しています。基礎科目として、生物、物理、化学

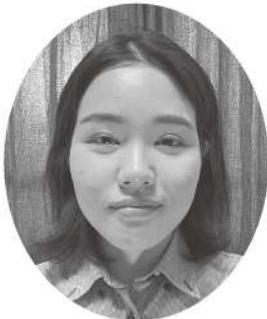
などの自然科学や人文科学、英語などを学びます。

専門科目では、畜産学、草地学、農業機械学、農業経営学等に関する講義や実習が準備されています。履修する際には、基礎科目と専門科目ともに必修科目と選択科目を含んでいますので、それぞれの修了要件単位数に十分注意してください。配布された履修要覧を良く理解するとともに、分からぬところは別科担任の和田先生やクラス担任の滝木先生に積極的に質問してください。

別科・酪農専修での特色ある科目の一つとして、「農場実習」があります。「農場実習」では、多様な酪農技術を連携させた教育プログラムを通して、牛群管理～酪農経営のスキルを身につけます。1年を通して季節ごとに異なる酪農技術(牛群管理、圃場管理)と酪農経営(營農計画、生産管理、予算／決算)の実務について、少人数グループでのローテンションにより、体験的に習得していきます。この実習を通じて、卒業時には、酪農現場にて活躍できる能力を身につけてもらいたいと考えています。今、日本を含む世界各国で、新型コロナウイルスによる感染あるいは感染予防のための様々な活動制限が続いている。皆さんも、思いもよらぬ制約の中での高校生活などを過ごしてきたと思います。でも、安心してください。別科教育においては、フィールドでの実習が多いこと、学生数が少なく密を回避できることなどから、対面での授業・実習を実践できています。存分に学んでもらえる状況にあります。

最後となりますが、皆さんの大学生活を充実させるために、何よりも大切なのは、健康であること、そして、何事にも積極的に取り組むことだと思います。それでは、皆さん、元気よくいきましょう。

在来生所感



共同獣医学課程 2年
加藤 文音

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。心より、お祝いの言葉申し上げます。

これから的新しい大学生活を迎える皆様の心境は今、どのようなものでしょうか、大学とはどのような場所だと考えますか。

去年のこの時期、私も待望の大学生活がスタートしました。しかし始まってみると、獣医学の専門科目を本格的に学習するのは2年生までお預けで、1年生のうちは高校内容の復習といった日々でした。ここで私が対峙することになったのは、暇な時間から生じる「虚無感」です。さあやるぞ、と意気込んでいたものの、ただ何となく時間が過ぎていくことに小さな不安と失望を感じました。

充実しているって何だろう。暇な時間を埋めようと、沢山アルバイトもしたし、色々なサークル活動にも参加しました。しかし、結局心は満たされず、幸せとは違っているなと感じました。そこで考えました。自分の時間は、人生は、自分が本当にやりたいと思うことに費やすことが大切なのではないか、と。確かに、出来ること、やれることを通して得られる学びも多くありますが、継続は力なりと言うように、その時間を続けていくとなると、やはり難しいものがありました。

大学に入って、ぜひ色々なことに挑戦したり、始めたりしてみて見て下さい。そして、大切なのは、「これはなんか違った」と思ったら思い切ってサヨナラすることです。自分のキャパシティーと相談して、無理だなと思ったら諦めることも一つ幸せな選択なのです。自分の人生を豊かにするのは自分自身で、そのためになんことを考え、どんな行動を取るかはあなたの自由です。

是非皆様の大学生活が実りあるものになることを祈っております。



畜産科学課程 3年
金曾 桃香

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして長かった受験勉強、お疲れ様でした。これからは新たに畜大生としての学生生活が始まります。私は、帯広畜産大学に来て最高 of 最高の大学生活を送っています。

自分の大好きな牛のこと、酪農や農業についての講義、サークル、バイトからなにから日々学ぶことが出来ます。毎日楽しいです。

そして、活発で魅力的な先輩と、同じく動物や家畜が大好きな気の合う仲間、私とは違う物の見方をする影響を与えてくれる友達、夢を応援してくれる教授、他にも沢山の自分を支えてくれる人間に出会います。何よりこの大学生という時間は特に自由だ

と思います。勉強する、資格をとる、バイトをしてお金を貯める、遊ぶ、部活に打ち込む、寮祭に命をかける、自分探しの旅をする、牛や彼氏、彼女と一緒に、何をしてもいいのです。自分の人生なので。私はこの在来生所感を書いてる今、四国を自転車で旅しています。

バイトで稼いだお金を持って、自転車に大きな荷物を乗せ、お遍路をしながら多くの人の応援を貰って日々走っています。というのも、去年の夏、北海道を自転車で1周したことからこの旅は始まりました。その時は農家を巡りながら、泊めてもらう代わりに作業を手伝い、ご飯を頂き、夜まで語り、終わったあとには新しい目標と仲間と自信と夢を得ました。今の旅にも新しい何かを得ることが出来ると思ってます。私的には目的は後付でいいのです。やりたいことをやりたいと思った時にやるべきだと考えます。

きっと、これから帯広畜産大学に来る皆さんの中に大きな期待と、それぞれが思い描くキャンパスライフがあると思います。

きっと、実現できるでしょう。

在来生所感



畜産科学課程 2年
伊藤 韶希

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長かった受験勉強も終わり、北海道十勝帯広という広大な土地での大学生活が始まります。これからは親の元を離れ、自立への大きな一步を踏み出す人も多いのではないでしょうか。大学を楽しみにしている人も多いと思いますが不安や緊張を抱えた人ももちろん少なからずいることでしょう。1年しかいない私からですが、大学を楽しむアドバイスです。大学での1年は想像していたよりも一瞬です。いろんなことにチャレンジしてみてください。十勝ならではのバイトをやってみる、友達と旅行に行く、全然知らなかったサークルに入ってみる、何でも良

いです。やってみようと思ったことは積極的にチャレンジしてみてください。そういうことを積み重ねるだけでとても充実した1年になると思います。ここで大切なのは、人との関わりを怖がらないということです。出身地が違ったり、興味深い経験を持っている人がいたり、これまであまり関わってこなかったような人と関わるようになると思います。さまざまな人と交流することで確実に面白い経験になっていくことでしょう。

大学に入るといろいろな「初めて」を経験する人は多いと思います。初めて自分で時間割を組み立てる、初めて動物に触れる、初めての一人暮らし始まる、初めて車の免許を取る、など。そんなたくさんの「初めて」が皆さんの大学生活を充実させてくれるでしょう。困ったことや悩み事があったら優しい先生方や先輩方が相談に乗ってくれるのでたくさん頼ってください。

最後になりますが、皆さんの大学生活が最高のものになることを願っています。



別科 2年
加藤 武志

ドキドキとワクワクの大学生活が始まりますね。新入生の皆さんご入学おめでとうございます。慣れない土地、90分授業や人間関係を1から作ること、1人暮らし、部活やサークルなど新しい環境での生活は不安なことがあると思います。では、今から私が別科で過ごした1年間の経験についてお話しします。

私の所属する別科では構内にある畜産フィールド科学センターでの実習の授業が半分を占めています。今年度には牛舎が新しくなりより新鮮な実習が行われると思います。実習では、ただ作業をするだけではなく、具合が悪い牛がいたときに臨機応変に対応し場合によっては学生が注射をしたり、正しい搾乳

方法、削蹄や除角、直腸検査をしたりなど実際に現場にいたときに役立つことが多く学べます。座学では日本酪農の現状、作物のことや繁殖、農業機械などについて多くのことが学べます。専門的なことが多く、分からなくても自分で抱え込まないで仲間に聞いて解決すればより新しい発見もあるかもしれません。

サークルや部活動も楽しいことばかりです。畜大きい動物に関するサークルに入るのもよし、今までやったことのないことのないことにチャレンジするのもよし、高校でやっていたことを続けるのもよし、サークルや部活動に入れば新しい友達、かっこいい先輩などそこには素晴らしい出会いが待っていることに変わりはありません!!

入学したばかりは誰もが不安になります。ならない人などいません！ですが気づいたら友達ができるて楽しんでいるはずです。挑戦忘れず、人の出会いを大切に、もうこんな幸せな瞬間は二度とこないだろうと思うくらいに楽しんでください!!では待ってまーす!!

学位記並びに 修了証書授与式が行われる



去る3月20日（月）午前10時から本学講堂において、新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、令和4年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。講堂での様子は大講義室に中継され、本学ホームページでも公開されました。

挙行に先立ち逍遙歌が流れ、長澤秀行学長から共同獣医学課程、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。

また、例年式典では学長より各ユニットにおける学業成績優秀者の表彰も行われていましたが、今年は大学から手交により学業成績優秀者へ賞状の授与及び記念品の贈呈を行いました。

本年度は、学部263名、別科（酪農専修）9名、大学院各専攻合わせて64名の合計336名が、畜大での思い出を胸に巣立っていきました。



☆飲酒について☆

本学では未成年者の飲酒は、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要等を含めて、いかなる場合であっても禁止し、また、退学や停学の処分を行う場合もあります。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた、断れず仕方なく飲んでしまった等の事実があった場合は、学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のこと留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車や自転車の運転をしない

☆SNS利用にあたって☆

SNS (Facebook, Twitter, LINE 等) を頻繁に利用している方も多いかと思いますが、SNS 利用に関するトラブルが近年増加しています。

自身で情報を発信する際は、

- ・他人のプライバシーを侵害していないか
(他人の写真や情報を載せる等)
 - ・自身のプライバシー設定は適切か
(自分の意図しない範囲まで情報が広まる等)
 - ・迷惑行為をしていないか
(誹謗中傷や不適切な発言や写真、動画の投稿等)
 - ・秘密にすべき内容を載せていないか
(アルバイト先等の内部情報等)
- など、トラブルを引き起こすまたはトラブルに巻き込まれる可能性はないか一度考えてから投稿するなど注意が必要です。

SNS は、自身の身近な人だけでなく、日本中、世界中の人に情報を発信していることを忘れずに良識をもって利用してください。

☆悪徳商法にご注意！☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った（思われる）場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

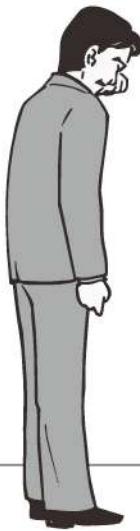
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求（パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する）
- 無料商法（無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる）
- サクラサイト商法（サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになります。
メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する）
- デート商法（間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます）
- マルチ商法（加盟者が新規加盟者を説き、その加盟者が別の加入者を説うという連鎖により組織を拡大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。
加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い）
- キャッチセールス（繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる）
- アポイントメントセールス（抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る）

交通事故防止

／加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑、罰金）
3. 行政処分 例（免許取消、免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲戒処分 例（退学、無期停学、停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



／被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い、経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が、毎日夢に出てくる
6. 怒り



／大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については、交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として、一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には、徒歩、自転車、或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では、学生と思われる無断駐車が多数受けられ、歩行者の通行を阻害する等、荷物の搬入、緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利

用を希望する者は本学が開催する「交通安全講習会」を受講の上、Webで駐車場使用許可申請を行い、「駐車場許可証」の交付を受けてください）

学外においても、本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として、良識ある行動を取るよう、切望します。